

Challenge Series vol.6

側溝に入ったゴミはどこへ行くの?? 浄水場?川?つまり海?追いかけてみた。



排水管を流れるゴミの行方をたどるつもりだったが、マンホールの中に入ることはできなかった。

側溝はゴミ捨て場や灰皿ではない!

ゴミのポイ捨て場所トップ4は、「PGT大作戦」でも、道路脇の側溝、茂み、ベンチの周辺、ゴミ箱付近だ。そのうち、いつももどかしく思うのが、側溝に捨てられ、拾うことができないゴミのこと。そこで、これらのゴミの行方をたどってみることにした。まず、側溝からつながっていると思われるマンホー

ルの中を確認したいと、下水道を管理する横浜市環境創造局に問い合わせたところ、空気測定などの安全確認を含む手続きと許可が必要で、マンホール内に入ることは叶わなかった。

下水道には雨水と汚水の排水がある!

だが、横浜市環境創造局と下水道の維持管理を担当している土木事務所双方の協力を得て、雨水のマンホー



雨水と一緒に、そのまま川へ流され海に向かうことになる側溝のゴミ。



見学させていただいた雨水マンホールは深さ4mほどもあり、底を静かに水が流れていた。真っ暗で、地上からのゴミの確認は難しい。

ル内部の地上からの見学と取材をさせていただいた。

本シリーズvol.2で大岡川支流の日野川源流をたどった時に、下水道には雨水排水と汚水排水があることをマンホールの表示で確認したが、この両者を別々の管路で流す方式を「分流式」、同一の管路を使用するもの



分流式の下水マンホールには、よく見ると「あめ」「うすい」「おすい」などが明記され、下を流れる排水が、どんな水なのかかわかるようになっている。

を「合流式」と呼ぶそうだ。現在、衛生上の問題などから、分流式が主流となり、横浜市では、面積の約7割が分流式で整備されていると聞いた。

分流式の場合、側溝からの雨水は、ある程度の容量まで集められた後、埋設(あるいは開放)された下水道管へ流入し、最終的に河川や海に放流されるそうだ。

側溝のゴミの行方、基本的には川から海へ!

本紙9号で訪ねた「中部水再生センター(下水処理場)」では、生活排水に含まれるゴミは、処理場に入る最初の段階で除去されていたが、雨水は処理がなされないため、そのまま放流されることになる。

私たちが拾うことができずもどかしい思いをしたおびたしい数のタバコの吸い殻も、多くは雨水の下水管を通り、川に放出され、そのまま海に流れ出ていると考えられる。

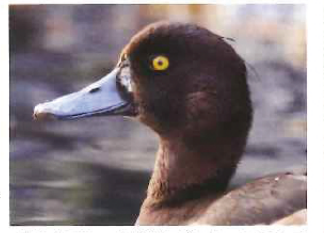
タバコの吸い殻などの小さく水に浮かばないゴミは、

大岡川野鳥観察記 No.12



キンクロハジロ

金黒羽白[Tufted Duck]
カモ目カモ科40cm



嘴は青灰色で先端は黒色。黒い頭部に目は金色に見える。撮影:豊田直之

ユーラシア大陸北部で繁殖し、冬になると越冬のためにユーラシア大陸南部やアフリカ大陸まで南下します。日本には九州以北に渡来し、河川、内湾、池、湖沼などに生息するカモの仲間。北海道では、数は少ないものの繁殖も確認されています。

後頭部に冠羽があるのが見分けの特徴。嘴は青灰色で先端部が黒く、先端部の黒色との境目は白いことも特徴です。頭部から胸部、体上部が黒く、眼の虹彩は金色にも見える山吹色。金色の目、オスは特に体の黒と翼の白が明確で、これが名前の由来です。

雑食性で、水生植物、甲殻類、魚類、貝類などを潜って捕食します。潜ることは得意なようで、深さは3mほど、潜水時間は20秒弱です。水面から飛び立つ時は、バタバタと羽ばたきながら水面を助走。そんな愛らしい姿が見られます。

オスとメスとは鳴き声が異なり、オスは「キュッ」「ガガア」、メスは「クアッ」と鳴きます。春になるとまた北へ渡り始め、大岡川では4月になると姿が見られなくなります。



大岡川では、11月下旬ぐらいから3月下旬ぐらいまで見られます。写真はメス。撮影場所:大岡川黄金町付近、SUPの上からの撮影。撮影:豊田直之



大岡川に流れ込む雨水管の排水口。側溝に入ったゴミは、ここから流出している。排水口を一時的に網などを設置して、流出するゴミの量を確認してみたいと考えている。

「PGT大作戦」でSUPの上から拾うことは困難だ。

タバコのフィルターは、多くの有害物質を含むプラスチックであることをご存知だろうか。

ポイ捨てされ海に流れ込んだタバコのフィルターは、

長い年月分解されずに環境中に残り続け、マイクロプラスチックとなり、食物連鎖に取り込まれる可能性も指摘されている。

側溝は、まもなく海につながるのだということを強く訴えていきたいと思う。

Radio Taxi
ラジオタクシー

おかげさまで創業65周年

アサヒタクシー株式会社

子育てタクシー
陣痛119番

小さいお子さんとの外出も安心!

研修を受けた安心
ドライバーが担当

チャイルドシート
完備!!

アサヒタクシーは環境を守る企業経営に
責任を持って取り組んでいます



本社・山手営業所

0120-39-9875

〒231-0851 横浜市中区山元町4-188番地
http://www.asहितaxi-hama.co.jp

羽田空港
定額運行サービス

西区・中区より

普通車 5,800円
(高速料金別途)

あなたに寄り添うクルマ、
それがボルボ。



THE NEW
VOLVO XC40



ボルボ・カー横浜西口
横浜西区楠町 12-10
首都高速 横浜西口ランプそば
TEL:045-321-0990

ボルボ・カー横浜西口 検索